

株式会社ジェイコム東京中野局
放送番組審議会 議事録

令和元年度（2019 年度）株式会社ジェイコム東京中野局 放送番組審議会委員会は、2020 年 3 月 26 日（木）株式会社ジェイコム東京中野局 会議室で開催された。
放送番組審議会委員会は 7 人の委員で構成され本日 4 名の出席があったため本委員会は成立。
また次年度の会長は折原会長に次年度も会長をお願いする。

【放送番組審議会委員】

涌井 友子 様
長谷部 智明 様
宮島 茂明 様
田中 章生 様

【事業者：株式会社ジェイコム東京 中野局】

千葉 孝 (局長)
佐藤 雅広 (地域プロデューサー)
小山 彰太郎 (地域プロデューサー)

【事業者：株式会社ジェイコム東京】

新井 博 (地域コミュニケーション統括部 地域プロデューサー)
平松 大典 (地域コミュニケーション統括部 広告グループ長)
坂野 貴弘 (地域コミュニケーション統括部 制作グループ中野制作チーム長)

事業者側から J:COM チャンネル (11ch) と J:COM テレビ (10ch) について報告があった。

【2019 年度編成報告】 報告：事業者

質疑応答

委員

地域特化コンテンツは長年やっているので見やすいし聞きやすいと感じる。
デイリーニュースについては地域じゃなければわからない部分の放送をしているのが重要。
イベント開催情報もギリギリまで情報を提供してくれるため我々も J:COM に新鮮な情報を提供するべきと考える、要望として様々な小さな問題の討論会等を設けてほしい。

事業者

興味があるご意見として拝聴、我々としても番組数が少ないためアイデアとして活用していきたい。

委員

取材時自前かアウトソーシングかわからないがスタッフの顔が解らなくなってしまったのでアプローチ先がわからなくなってしまった。

人間関係の再構築をしてより良い関係を築いていき、地域の声を拾ってほしい。

地域の情報が増えると区民・組織との関係がよくなるし経済活動もあがる。

事業者

重々感じている、中野だけではなく他エリアにも取材に行くことになり、そう感じられる人が多いと思う。そのために地域プロデューサーができたので活用していただきたいし、情報は弊社社員ならば誰にでも伝えていただきたい。

【2020 年度編成方針案】 報告：事業者

委員

今中野という町が変わっていく中で途中経過と再集計の情報が割合少ない、デイリーニュース等で定期報告を行ってほしい

区民が情報をどこで集めるかわからないため J:COM にその発信源としていてほしい、行政にもサンブラ等に完成模型を置いてほしいとの要望を出している。

委員

上から見下ろすの映像を見ることができないため J:COM に区や担当者と連携して説明してほしい

事業者

以前撮らせていただいたので可能かと思う

現在区役所に定点カメラがあるが確かに高いところから映せる。物事をカレンダーとしてとらえているため、途中経過が出せないでいる。

委員

画像が出れば見た目で分かりやすいためぜひ取り上げて頂きたい、声がかかると取材しやすいのでお互いに知らせあいたい。

イベントがなく大変なのはわかるが、そのような時期だから歴史的なものを掘り出すチャ

ンスかもしれない。

事業者

地域から声をかけていただけるよう今後とも努力していく。

委員

WEB 媒体紙媒体、区報等の拾い読みするような番組があっても良いと思う。

委員

区内の歴史的部分の紹介、ナレーションのうまい人の案内で地域を見ていくのは如何か、長々と散歩は映像として良いがナレーションが追い付いていない。

中野観光大使が中野区に詳しく彼と街を回ると説明が面白い、そのような地域の紹介があっても良いと考える歴史の説明をスムーズに面白く、視聴者が引き込まれるようにしてほしい、編集でナレーションをかぶせて聞きやすくしてほしい。

事業者

『ピックアップなかの』があり中野の歴史をお伝えしてきたが今期で歴史は終了。来期は中野区の再開発を取り上げる予定となっており区の広報主導で行う予定。年間 4 本しか作られないためタイムリーな情報が出せないので編成側でフォローできたらと考えている。

委員

人図鑑で紹介していたくと親しみを持てる事がある。4 月 1 日消防署長が変わるので取り上げていただきたい。

事業者

人図鑑を 3 年やっているがアプローチできていない人がいるため紹介していただけるとありがたい。

出演者選びのルールが変わってきたため可能かと考えている是非人物紹介をいただきたい。

以上